

お知らせ

記者発表資料 | 平成24年11月19日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ
島根県政記者会
広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

新しい道「尾道松江線」のリレーシンポジウムを開催します！ 第1回 ～しまねの未来につながる新しい道～

- 広島県の瀬戸内沿岸にある尾道市から広島県北部の三次市を經由し、島根県の県都松江市を結ぶ尾道松江線の開通に向けて、その活用方法や地域の期待、経済効果など山陽と山陰を結ぶ高速道路としての幅広い可能性について考える機会としてシンポジウムを開催します
- 日本海側、瀬戸内海側、そして中山間地域というそれぞれの地域特性（自然、資源、産業、経済等）に着目して、尾道松江線を活かした地域の連携を期待することから3回に分けて開催するリレーシンポジウムとしています
- 島根大学教育学部の作野広和准教授による基調講演「尾道松江線の開通による三海の交流と日本海側の役割」や経済界、地域づくり関係者などを交えたパネルディスカッションを行い、平成26年度に全線開通を予定している尾道松江線について地域の期待や開通後の可能性を探ります。

【開催概要】

日 時：平成24年12月1日（土）13：30～16：30（13：00開場）
場 所：ふれあいホールみせん（頓原農村環境改善センター）
島根県飯石郡飯南町頓原2093

※詳細の内容は、別紙の「案内チラシ」を参照願います。

【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所
島根県松江市西津田2丁目6番28号
調査設計課長 にしのはら まさし 西ノ原 真志
TEL：0852-26-2131（代表）（平日9:00～17:00）
URL：<http://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/>

中国横断自動車道 尾道松江線

第1回

リレーンポジウム

～しまねの未来につながる新しい道～

入場
無料

至 三次

至 松江

(H24.6撮影)

吉田掛合IC付近

日時 2012

12/1 土

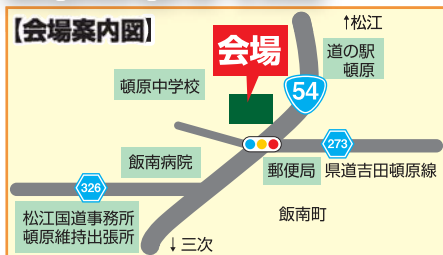
13:30～16:30 (開場13:00)

場所

ふれあいホールみせん (頓原農村環境改善センター)

島根県飯石郡飯南町頓原2093
TEL(0854)72-1155

定員100名



※車でお越しの際は駐車場をご利用下さい

※お申込みは裏面を参照してください。

基調講演

尾道松江線の開通による 三海の交流と日本海側の役割

講師 さくの ひろかず
作野 広和 氏

島根大学教育学部 共生社会教育講座 准教授

パネルディスカッション

コーディネーター 作野 広和 氏

パネリスト

島根経済同友会代表幹事：宮脇 和秀氏
道の駅赤来高原駅長：安部 順郎氏
山陰中央新報社特別論説委員：前田 幸二氏
島根県・沿線市町
中国地方整備局松江国道事務所

【主催】国土交通省中国地方整備局

【共催】中国経済連合会、島根県、広島県、松江市、出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町、尾道市、三次市、庄原市、世羅町
中国横断自動車道尾道松江線建設促進期成同盟会

【後援】中国新聞社、山陰中央新報社

【お問合わせ】中国地方整備局松江国道事務所 調査設計課

TEL0852-26-2131 (平日9:00～17:00)

中国横断自動車道 尾道松江線リレーシンポジウム

開催趣旨

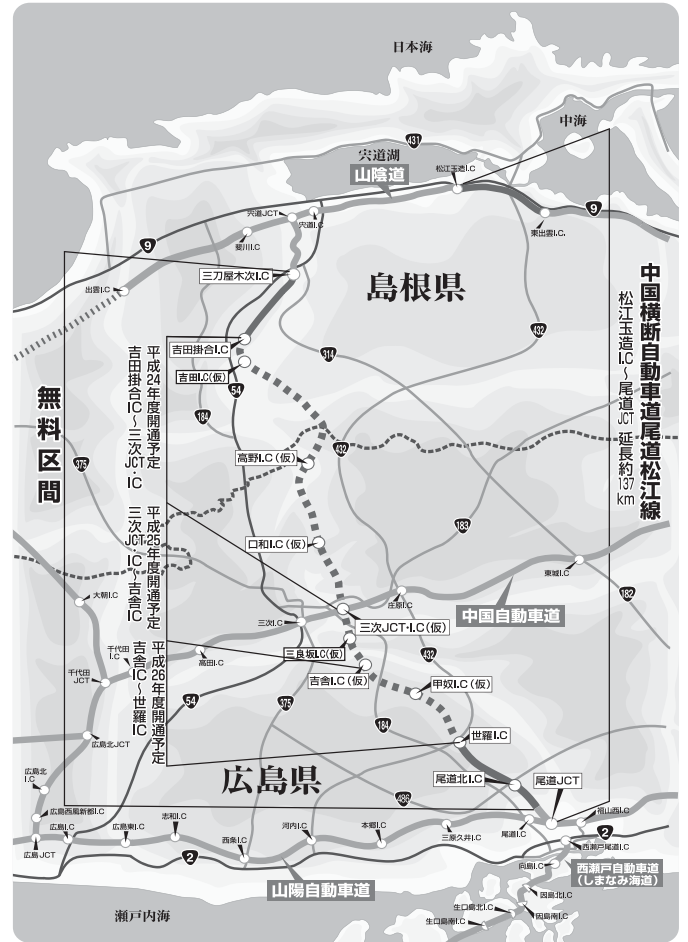
広島県の瀬戸内沿岸にある尾道市から広島県北部の三次市を経由し、島根県の県都松江市を結ぶ尾道松江線の開通に向けて、その活用方法や地域の期待、経済効果など山陽と山陰を結ぶ高速道路としての幅広い可能性について考える機会としてシンポジウムを開催します。

日本海側、瀬戸内海側、そして中山間地域というそれぞれの地域特性（自然、資源、産業、経済等）に着目して、尾道松江線を活かした地域の連携を期待することから3回に分けて開催するリレーシンポジウムとしています。

予告

【第2回】平成25年1月14日(月・祝)
尾道市「しまなみ交流館」

【第3回】平成25年2～3月
三次市(予定)



講師プロフィール



さくの ひろかず
作野 広和 氏

島根大学教育学部 共生社会教育講座 准教授
1968年島根県松江市生まれ。

広島大学大学院博士課程単位取得。同大助手、島根大学講師を経て現職。
専門は農村地理学、過疎・中山間地域論、GIS研究。

日本地理学会代議員、人文地理学会評議員、地域地理学会編集委員、島根地理学会幹事、島根県中山間地域研究センター客員研究員、農林水産省鳥獣害対策アドバイザー、国土交通省中国地方整備局事業評価監視委員会委員、江津市自治機能再生ブレイン等。

2006年より尾原ダム周辺の地域づくりに参画し、現在尾原ダム地域づくり推進連絡協議会会長。

2009年より江津市松平地区に研究室分室「松平ラボ」を設置し、住民との協働による地域づくりを展開中。

第1回 参加申込み (FAXまたはメールで)

ふりがな			
お名前			勤務先
ご住所	〒		
電話番号	() -	参加人数	名

※記入がなくても構いません

※応募者の個人情報は、本シンポジウムの運営にのみ使用します。

※定員に達した場合は、お断りさせていただきます。

〈申込み先〉中国地方整備局松江国道事務所 調査設計課 行

FAX 0852-25-9438

メールアドレス info-matsukoku@cgr.mlit.go.jp

申込み締め切り：平成24年11月22日(木)